



夕刊 文藝欄 第九百四十四号

地方新聞の文藝欄

權威とその影響

廣河生

しかも、正直のところ地方新聞の文藝欄の支持者は、その八十八パーセントまでは、若くは無名の青年諸君に依つて占められてゐる事實に於てを言ふのである。

△財政部報告書 議會案 破綻 銘打つて林内閣 於ける九次政策の検討 他其の方面の記事 一 (二)部三十銭税一銭 京市京橋銀座西五の五共

△後醍醐天皇 行は(二週) 吉野朝の忠臣三朝聖徳を 記す三朝聖徳、島根縣一 町町に造営、鎮座祭行は (三日間)△從軍記章制定(明治八)

野誰かか存せぬが危急御令弟か、いやこれはした手を梯子へかけ片手で抜刀をよこし、身を振りかざして、五郎兵衛に向つて、

地方新聞が有つた文藝の權威とは何か? 方向とは何か? 一律一章に論じ盡せる問題では元よりない。が、上の欄と大局的立場から、一つの『地方性』と云つたもの特色を描かせるべき方——其處に作家養成

句帳から 打仰ぐ桂大樹や春の雲 手拭の首に花見の歸りかな 水蓮の三つ四つ咲きし寺の庭 四五本の柳の新芽垂れにけり 麗かや熊、戯むる子供たち 春日や小瀬は水に浸りをり 文知指の露の片側梅さかり

妖刀流轉 邑井貞吉 佐々木今朝吉 身の浮世瀾(十四) 側へ走り寄つた軍蔵が、七を抱き起し

人のある旅の者、お見受申と云ふ雨眼をさへて前へせば、御家中の御様子で御座るのめつた

然しサイパンは露に人口飽和状態にあり生存競争も激烈で最近浮世の不景氣は此處迄も浸透して來ては、南洋の玄關であり南洋論のスタートラインである。サイパンも、もつと意氣

南洋旅行記 西崎生 五

立ち立らぬ脚を續け油桐子で固められた中に巨られん事を望む。サイパン大なる石の柱の上に石臼の

急所から思はず五郎兵衛の太刀を振り、血を流して痛

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

北川外科 外科一般 内臓外科 レントゲン科 泌尿器科 平町新川町二七(電話四六四)

句帳から 打仰ぐ桂大樹や春の雲 手拭の首に花見の歸りかな 水蓮の三つ四つ咲きし寺の庭 四五本の柳の新芽垂れにけり 麗かや熊、戯むる子供たち 春日や小瀬は水に浸りをり 文知指の露の片側梅さかり

妖刀流轉 邑井貞吉 佐々木今朝吉 身の浮世瀾(十四) 側へ走り寄つた軍蔵が、七を抱き起し

人のある旅の者、お見受申と云ふ雨眼をさへて前へせば、御家中の御様子で御座るのめつた

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

和洋 建築 家具 器具 製作販賣 片寄製作店 電話四八四番

天井板、ベニヤ板 確かに御期待に添ふ良質廉價の 鐵田村木商店 電話四六〇番

大特賣中 フタバ商會 平・新川町郵便局前

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

井坂商店 病室増築、手術室完備 婦人科 醫學博士 五十嵐雄二 平町新川町(電話三六九番)

